第6学年 病気の予防「薬物乱用の害」 (保健体育) 略案

指導者 千葉 誠二
 大須賀 章子
 戸賀 瀬百合

1, 日時 12月10日(金) 10:30 ~ 11:15

2, 本時のねらい 薬物乱用のきっかけや害について知り, 対処法について考えることができる。

4, 本時の実際

時間	学習活動と児童の動き	教師の支援及び評価	センターの先生の支援	備考
10:30	1. 課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 薬物の恐ろしさを知り 対処の仕方について考えよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ×クイズを行い, 薬物についての学習への意欲を高める。 		
10:35	2. 薬物にはどんな物があり, どんな危険があるのか知る。		<ul style="list-style-type: none"> 薬物の定義や種類, 乱用することによって出てくる障害等について, 映像資料等をもとに専門的な説明をする。 	
10:45	3. どんなきっかけで始まるのか考え, 実例を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちがきっかけについて考えられるように最近の新聞記事の切り抜きを準備しておき紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの発表を受けて実例の紹介や映像資料をもとに専門的な補助説明をする。 	
10:50	4. 勧められたときの対処法を考える。	<ul style="list-style-type: none"> シートを準備しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもと役割演技をする。(センターの先生が勧め役) 	
11:05	5. シートで振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 薬物の恐ろしさを知り 対処の仕方がわかる。 (シート・発表) </div>			